

# 近代日本産業技術記念物に関する調査\*

## —その1 企業編—

吉田光邦\*\* 井上章一\*\*\*  
小野芳朗\*\*\*\* 森田恒之\*\*\*\*\*

### 1. 産業技術記念物調査 に関する概要

本資料紹介では、昭和59年度におこなわれた「近代日本産業技術の実態調査及びその発展過程に関する実証的研究」（文部省科学費、吉田光邦代表）において、全国に散在する企業の様々な産業技術記念物の実態をアンケート調査した、その結果について報告する。

調査は、日本全国の製造業関連企業を対象に郵送方式により、産業技術記念物の所在を問うた。以下に、その調査方法、並びに結果と展望に関し述べていくこととする。本調査での最大の目的は、全国に散在し、かつ放置すれば、いずれ廃棄されるかもしれない、ある企業もしくは業界において歴史上有用となったモノの所在確認にある。したがって、調査したモノの詳細を知るところまではアンケート調査では求めず、モノの存在を知るところに重点をおいた。

### 2. 調査方法

#### 2-1 対象地域

近代日本産業技術に関する調査であるため、北海道から九州まで、調査域はほぼ日本

全国にわたった。

#### 2-2 対象企業

本調査における対象企業のリストアップは、まず1次および2次産業を主として考えた。また3次産業は前2者と関連するもののみとし、サービス産業、流通業等は調査対象より除外した。さらに、歴史的な産業技術記念物が、大企業の大工場よりも、むしろ町工場等の中小規模の企業に多く残され、あるいは現在も使用されている可能性が大きいとの判断が一方ではあったものの、アンケート調査実施の技術的制約や、調査対象が膨大にふくらむ等の理由により、以下の企業に焦点を絞った。すなわち、1部・2部上場会社、ダイヤモンド社編『会社要覧（非上場会社版）1983年』記載の会社、（社）大阪工業会傘下企業以上合計3,988社である。そして、上記の理由で調査対象より除外した中小規模工場に関しては、調査対象企業に、関連事業所等を紹介してもらうことで、情報の補充に努めた。

#### 2-3 調査対象の範囲

アンケート調査用の冊子は、以下の24種の

\* 1986年8月20日受理

\*\* 本会会長, \*\*\* 京都大学人文科学研究所, \*\*\*\* 京都大学工学部, \*\*\*\*\* 国立民族学博物館

業種別に作成した。

金属鉱業	窯業・土石
非金属鉱業	鉄鋼
総合工事・設備	非鉄金属
職別工事業	金属製品
食料品	一般機械
繊維工業	精密機械
衣服	電気機械
皮	武器製造業
紙加工・印刷	電力・ガス・水道
化学	その他製造業
石油製品・石炭製品	木材・家具
ゴム製品	輸送用機械

これらの冊子を、各企業の業種に応じて分類・配布した。

#### 2-4 郵送形式

調査用冊子を封筒で郵送し(昭和59年12月)、同封の返信用封筒で回答をうけた(昭和60年3月回収終了)。調査母体は、文部省科学研究費特定研究(1)59127025(研究代表者:京都大学教授吉田光邦)をうけた産業技術記念物調査会であり、返信先は(社)大阪工業会とした。

#### 2-5 調査票

アンケート調査票に関し、例として食料品に関し、以下に略述する。なお、他の23業種に対する調査票も、全く同じ形式ではあるが、異なる点は、資料種別と年代に関するマトリクスである。

まず、調査の目的として、文部省科学研究費の助成のもとに、歴史的な産業技術記念物の全国所在調査をおこなう旨を述べ、「産業技術記念物の有無、具体的には貴社の飛躍的な発展をになり画期をなしたもの、あるいは輸入一号機器、国産一号機器といった記念すべき設備等の保管状況」を質問することとした。

質問は、I. 概要、II. 海外からの輸入

品、III. 国産品、IV. 当該企業にとり画期的役割りを担ったもの、V. 模型、復元物、図面等、VI. 出版物、VII. その他特筆すべき資料、VIII. 関連事業所等の情報の8つのセクションによりおこなわれた。

#### I. 貴社の概要

I-1 貴社名、住所、回答者名・職

I-2 アンケートを事業所で回答した場合の事業所名、住所、回答者名

I-3 貴社の主たる業種はいずれか。

- |              |           |
|--------------|-----------|
| 1. 食料品       | 2. 繊維     |
| 3. 衣服        | 4. 木材・木製品 |
| 5. 家具・装備品    | 6. パルプ・紙  |
| 7. 出版・印刷     | 8. 化学     |
| 9. 石油・石炭製品   | 10. ゴム製品  |
| 11. ガラス・土石製品 | 12. 鉄鋼    |
| 13. 非鉄金属     | 14. 金属製品  |
| 15. 一般機器     | 16. 電気機器  |
| 17. 輸送用機器    | 18. 精密機器  |
| 19. その他製造    | 20. 建設    |
| 21. 電力・ガス    | 22. その他   |

I-4 企業博物館、資料室の有無。

その名称、創立年、管理責任者名および所在地。

#### II. 輸入品

II-1 貴社がはじめて輸入した製作機械の実物を保管している場合は、下記の表(表一)に○印、日本全国で最初の輸入品には◎印を記入して下さい。

II-2 貴社がはじめて輸入した製品の実物を保管しておられる場合は、それを下記の表に○印で記入して下さい。(前掲同表)

#### III. 国産品

III-1 貴社にとって第1号となる国産製作機械を保管しておられる場合は、それを下記の表に○印で記入して下さい。

表-1

	1868年以前 江戸時代	1869～1892 明治元年～ 25年	1893～1911 明治26年～ 44年	1912～1925 大正元年～ 14年	1926～1945 昭和元年～ 20年	1946年以後 昭和21年以後
1. 畜産食料品製造業						
2. 水産食料品製造業						
3. 野菜かん詰・果実かん詰・農産保存食料品造製業						
4. 調味料製造業						
5. 精穀・製粉・砂糖製造業						
6. パン・菓子製造業						
7. 飲料製造業						
8. 飼料・有機質肥料製造業						
9. 動植物油脂製造業						
10. その他の食料品製造業						

(前掲同表)

Ⅲ-2 貴社にとって第1号となる国産品を保管しておられる場合は、それを下記の表に○印で記入して下さい。(前掲同表)

Ⅳ. とくに第1号機器でなくても貴社の発展にとって画期的な役割を担ったもの

Ⅳ-1 貴社の発展にとって画期的な役割を担った製作機械を記念して保管しておられる場合は、下記の表に○印で記入して下さい。なおそれが輸入品である場合にのみとくに⊙と記入して下さい。(前掲同表)

Ⅳ-2 貴社の発展にとって画期的な役割を担った製品を記念して保管されている場合は、下記の表に○印で記入して下さい。(前掲同表)

Ⅳ-3 貴社の発展にとって画期的な役割を担った工場・研究所等の構築施設ある

いは産業遺跡の、名称、所在地、創立年、管理者氏名、保存の理由、主な収蔵物

V. 模型、復元物、図面等

V-1 貴社の発展にとって画期的な役割を担った製作機械、製品、工場等構築施設あるいは記念すべき第1号機器類の模型もしくは復元物があれば、そのオリジナルの年代を下記の表に○印で記入して下さい。(前掲同表)

V-2 上記の記念物に関する設計図類があれば、それを下記の表に記入して下さい。記入は、設計図を①、仕様書を②、カタログ・パンフレットを③でお願いします。(前掲同表)

V-3 上記の記念物に関する写真・スライド類があれば、それを下記の表に記入して下さい。記入は、写真を①、スライド・映画を②でお願いします。(前掲同表)

VI. 貴社で刊行されている出版物

1. 社史 2. 文書集 3. 伝記 各々、  
書名、刊行年を記す。

VII. 以上の表の種別にあてはまらないもので重要な産業技術記念物、あるいはその他特筆すべき資料に関し、その名称および年代を記す。

VIII. 歴史的な産業技術記念物の所在状況に関する情報を記す。

以上が調査票の概要であるが、他の23業種に関しては、II-1以下に掲載されるマトリクスの縦軸の資料の種別が異なっている。以下に、23業種に関し列挙しておく。

金 属 鉱 業

1. 貴金属鉱業
2. 非鉄金属鉱業
3. 鉄属鉱業
4. 軽金属鉱業
5. 希有金属鉱業
6. その他の金属鉱業

非 金 属 鉱 業

1. 石炭鉱業
2. 亜炭鉱業
3. 石油鉱業
4. 天然ガス鉱業
5. 採石業および砂・じゃり・玉石採取
6. 窯業原料用鉱物鉱業（耐火物・陶磁器・ガラス・セメント原料等）
7. 化学・肥料原料用鉱物鉱業
8. 粘土鉱業
9. その他の非金属鉱業

総 合 工 事 ・ 設 備

1. 土木工事
2. 舗装工事
3. しゅんせつ工事
4. 建築工事
5. 木造建築工事
6. 電気工事
7. 電気通信・信号装置工事
8. 管 工 事（さく井を除く）
9. さく井工事
10. その他の設備工事

職 別 工 事 業

1. 大工工事
2. とび・土木・コンクリート工事
3. 鉄骨・鉄筋工事
4. 石工・れんが・タイル・ブロック工事
5. 左官工事
6. 屋根工事
7. 板金・金物工事
8. 塗装工事
9. その他の職別工事

織 維 工 業

1. 製 糸
2. 紡 績
3. ねん糸・かさ高加工糸
4. 織 物
5. メ リ ヤ ス
6. 染 色 整 理
7. 網 ・ 網
8. レース・繊維製品
9. その他の繊維工業

衣 服

1. 外	衣 (和式を除く)
2. 中	衣
3. 下	着
4. 帽	子
5.	毛皮製衣服・身のまわり品
6.	その他の衣服・繊維製身のまわり品 (和式を含む)
7.	その他の繊維製品

化 学

1.	化学肥料
2.	無機化学工業製品
3.	有機化学工業製品
4.	化学繊維
5.	油脂加工製品・石けん・合成洗剤・界面活性剤・塗料
6.	医薬品
7.	その他の化学工業

皮

1.	なめしかわ
2.	工業用かわ製品
3.	かわ製はきもの用材料・同付属品
4.	かわ製はきもの
5.	かわ製手袋
6.	かばん
7.	袋物
8.	毛皮
9.	その他のなめしかわ製品

石油製品・石炭製品

1.	石油精製
2.	潤滑油・グリース
3.	コークス
4.	練炭・豆炭
5.	舗装材料
6.	その他の石油製品・石炭製品

ゴ ム 製 品

1.	タイヤ・チューブ
2.	ゴム製はきもの・同付属品
3.	プラスチック製はきもの・同付属品
4.	ゴムベルト・ゴムホース
5.	工業用ゴム製品
6.	その他のゴム製品

紙 加 工 ・ 印 刷

1.	パルプ
2.	紙
3.	加工紙
4.	紙製品
5.	紙製容器
6.	その他のパルプ・紙・紙加工品
7.	印刷
8.	製本・印刷物加工
9.	印刷業に伴うサービス
10.	その他の印刷業

窯 業 ・ 土 石

1.	ガラス・同製品
2.	セメント・同製品
3.	建設用粘土製品
4.	陶磁器・同関連製品
5.	耐火物
6.	炭素・黒鉛製品

7. 研磨材・同製品
8. 骨材・石工品等
9. その他の窯業・土石製品

鉄

1. 高炉による製鉄
2. 高炉によらない製鉄
3. 製鋼および圧延
4. 製鋼を行なわない鋼材
5. 表面処理鋼材
6. 鍛鋼・鍛工品・铸鋼
7. 銑鉄铸物
8. その他の鉄鋼業

非鉄金属

1. 非鉄金属第1次製練・精製
2. 非鉄金属第2次製練・精製
3. 非鉄金属・同合金圧延
4. 非鉄金属铸物
5. 電線・ケーブル
6. その他の非鉄金属

金属製品

1. ブリキかん・その他のめっき板等製品
2. 洋食器・刃物・手道具・金物類
3. 暖房装置・配管工事用付属品
4. 建設用・建築用金属製品（製かん板金業を含む）
5. 金属打抜・被覆・彫刻業・熱処理業（ほうろう鉄器を除く）
6. 金属線製品（ねじ類を除く）
7. ボルト・ナット・リベット・小ねじ・木ねじ等
8. その他の金属製品

一般機械

1. ボイラ・原動機
2. 農業用機械（農器具を含む）
3. 建設機械・鉱山機械（建設用・農業用・運搬用トラクタを含む）
4. 金属加工機械
5. 繊維機械
6. 特殊産業用機械
7. 一般産業用機械・装置
8. 事務用・サービス用・民生用機械器具
9. その他の機械・同部分品

精密機械

1. 計量器・測定器・分析機器・試験機
2. 測量機械器具
3. 医療用機械器具・製品
4. 理化学機械器具
5. 光学機械器具・レンズ
6. 眼鏡（わくを含む）
7. 時計・同部分品

電気機械

1. 発電用・送電用・配電用・産業用電気機械器具
2. 民生用電気機械器具
3. 電球・電気照明器具
4. 通信機械器具・同関連機械器具
5. 電子応用装置
6. 電気計測器
7. 電子機器用および通信機械用部品
8. その他の電気機械器具

武器

1. 銃
------

近代日本産業技術記念物に関する調査(吉田・井上・小野・森田)

2. 砲
3. 銃 弾
4. 砲 弾
5. 銃砲弾以外の弾薬
6. 弾薬装てん組立
7. 特殊装甲車両
8. その他の武器

5. その他の木製品
6. 家具
7. 宗教用具
8. 建具
9. その他の家具・装備品

輸送用機械

1. 自動車・同付属品
2. 鉄道車両・同部分品
3. 自転車・同部分品
4. 船舶製造・修理業・船用機関
5. 航空機・同付属品
6. その他の輸送用機械器具

その他の製造業

1. 貴金属製品
2. 楽器・レコード
3. かん具・運動競技用具
4. ペン・鉛筆・絵画用品・その他の事務用品
5. 装身具・装飾品・ボタン・同関連品
6. プラスチック製品
7. 漆器
8. 他に分類されないもの

電力・ガス・水道

1. 発電・変電
2. 送電
3. その他の電気事業
4. ガス製造
5. ガス供給
6. その他のガス事業
7. 上水道
8. 工業用水道
9. 下水道
10. 熱供給

3. 調査結果

3-1 回答状況

調査実施期間 昭和59年12月—60年3月  
 調査企業総数 3,988社  
 調査票発送数 6,602票  
 回答企業数 1,084社  
 回答数 1,096票  
 回答率 27.2% (1,084/3,988)

調査票名	送付数	回答数	回答率(%)
金属鉱業	42	4	9.5
非金属鉱業	42	8	19.0
総合工事・設備	556	75	13.5
職別工事業	556	76	13.7
食料品	257	60	23.3
繊維工業	214	38	17.8
衣服	214	10	4.7
皮	214	7	3.3
紙加工・印刷	106	30	28.3
化学	552	114	20.7

木材・家具

1. 製材業・木製品
2. 造作材・合板・建築用組立材料
3. 木製容器
4. 木製はきもの

表一2

	江戸	明治前期	明治後期	大正	昭和戦前	昭和戦後	計
Ⅱ-1 輸入製作機械一号機	1	6	14	15	21	91	148
Ⅱ-2 輸入製品第一号	1	2	5	9	3	42	62
Ⅲ-1 国産製作機械一号機	0	5	5	13	15	78	116
Ⅲ-2 国産製品第一号	0	2	9	35	32	109	187
Ⅳ-1 重要な製作機械	0	4	7	15	18	68	112
Ⅳ-2 重要な製品	2	4	14	34	42	140	236
Ⅴ-1 模型もしくは復元物	2	7	7	11	13	49	89
Ⅴ-2 図面・パンフレット類	1	3	8	19	22	80	133
Ⅴ-3 写真・スライド類	3	13	19	31	50	93	209

表一3

	北海道	東北	関東	東京	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州
回答社数	7	15	50	157	19	57	140	19	4	21
Ⅱ-1 輸入製作機械一号機	4	4	10	43	6	18	50	5	2	6
Ⅱ-2 輸入製品第一号	1	0	8	16	1	7	22	3	0	4
Ⅲ-1 国産製作機械一号機	4	3	8	23	5	18	42	7	1	5
Ⅲ-2 国産製品第一号	1	3	11	75	7	11	65	4	1	9
Ⅳ-1 重要な製作機械	2	2	14	32	5	18	32	8	0	3
Ⅳ-2 重要な製品	2	5	28	82	9	12	82	6	0	8
Ⅴ-1 模型もしくは復元物	1	3	6	31	2	7	36	1	0	2
Ⅴ-2 図面・パンフレット類	2	4	12	42	2	14	49	5	0	3
Ⅴ-3 写真・スライド類	3	6	16	58	1	20	94	6	1	4

石油製品・ 石炭製品製造業	48	16	33.3
ゴム製品	49	11	22.4
窯業・土石	162	46	28.4
鉄鋼	459	46	10.0
非鉄金属	459	35	7.6
金属製品	459	31	6.8
一般機械	476	73	15.3
精密機械	476	49	10.3
電気機械	362	92	25.4
武器製造業	94	0	0.0
電力・ガス・水道	68	42	61.8
その他製造業	217	37	17.1
木材・家具	217	10	4.6
輸送用機械	469	127	27.1
無記入・その他		241	

以下の表にアンケート集計結果の資料、年代に関し全般的な数値を記す。返送された回答票のうち、社名（事業所名を含む）および業種以外の調査項目に対し、何らかの記入があったのは437事業所であり、これら有意回答は、調査対象3,899社当りにすれば、11.2%である。

表一2よりわかるように、現存するモノは、昭和戦後期のものが圧倒的に多いが、大正から昭和戦前期にわたる資料もある程度残されている。また、国産製品第1号、輸入製作機械1号機が各々187、148件と比較的多く残されている。

その他、有意回答企業中、71.4%に当たる312社が社史を刊行し、15.3%の67社が博物館類似施設を有している。尚、これら施設のうち26が東京に、24が近畿に配置されてい

3-2 調査結果概要



る。

また、地域により各々の回答項目をまとめたものが表-3である。

回答社数の絶対量の違いがあるものの、全ての項目において残存する資料は、東京、近畿地区にほとんど集中しており、次いで中部、関東地区に多いことがわかる。

### 3-3 遺跡・遺構

アンケート中で、各社にとっての産業記念物的構築物の有無を問うた(N-3)。

その回答中、具体的に名を挙げてもらった例を以下に地区別に列挙して示す。

#### 北海道

○サッポロビール(株)札幌工場・開拓使麦酒記念館(明治23年創立)

#### 東北

○前田製管(株)・木工所(昭和20年頃)  
○新日本製鉄(株)釜石製鉄所・橋野商炉跡(昭和32年6月)

#### 関東

○東京繊維工業(株)足利工場(大正7年)

#### 東京

○日清製粉(株)・製粉記念館(明治33年)  
○合同酒精(株)・牛久工場(明治36年)  
○ニッカウキスキー・北海道工場会長室(昭和9年)余市町文化財  
○住友ペークライト(株)・向島工場54棟(大正6年2月20日)  
○柴田ハリオ硝子(株)・古河工場(昭和46年3月)  
○日立金属(株)・鳥上木炭鉄工場(大正7年)  
○(株)測機舎・12口寸Yレベル(1号機)  
○(株)日立製作所・創業小屋および事務所

#### 中部

○中部電力(株)・名古屋電灯会社発電所(火力)跡地(明治22年)、現在「電気文化会館」建設中

#### 近畿

○大倉酒造(株)・本宅内蔵(文政11年)、研究所(明治42年)、昭和蔵(昭和3年)、燻詰工場(昭和6年)、大手一号機(昭和36年)

○倉敷紡績(株)・倉敷アイビースクウェア(明治21年)

○ユニチカ(株)・ユニチカ記念館(明治33年)

○日本ペイント(株)・明治記念館(明治42年)

○新田ゼラチン(株)・試験室(昭和16年)

○(株)十全商会・煉瓦煙突(大正元年)

○大阪セメント(株)・旧本社ビル(大正2年)

○(株)島津製作所・島津創業記念館(明治21年)

○松下電器産業(株)・松下電器歴史館(昭和43年)

○日立造船(株)・日立造船舞鶴館(明治35年)

○川崎重工業(株)神戸工場・第一乾ドック(明治35年)、川崎造船所旧本社社屋(明治41年)、川崎重工業社名石碑

○大阪ガス(株)彦根支社・長浜営業所(大正元年)

#### 九州

○日立金属(株)九州工場・戸畑鋳物(株)建屋(明治43年)

○新日本製鉄(株)八幡製鉄所・旧本事務所(明治32年)

### 3-4 資料

アンケート中、前章に示した業種別の表で、単に印のみならず、具体的なモノを記入してもらったところもあった。表の結果は3-2で示したが、そのうちの一部を以下の列挙したリストの中に示す。

#### 北海道

○旭川ガス(株)宮前工場・D-9式ガス化装置(昭和39年)国内製体一号機。

#### 関東

○東京繊維工業(株)足利工場・ピッカー(除塵機)英国 DOBSON & BARLOW 社製  
○昭和炭酸(株)川崎工場・横型三段圧縮機

- (昭和3年) 米国 Washington Pump & Machinery co. より輸入。
- (株)明治ゴム化成神奈川工場・飛行機タイヤ。プラスチック製瓶ケース。船舶推進軸ゴム巻。飛行機タイヤチューブ。ソリッドタイヤ。潜水艦電槽。空中魚雷被帽ゴム。紡績用エポナイト製品。ゴムマット。ゴムタイル。製材用ロール。防振ゴム。露線式大口経ホース。二次電池用セパレータ。バンドレスホース。ドレヅジャースリーブ。戦車履帯。エクспанションゴムジョイント。ピッカー。製紙用サクションロール。ハーフトラック履帯。雪上車部品。ウォーターハンマーゾーバー。ゴムタイル。ゴムマット。
- 大日本電線(株)電気研究所・内冷CVケーブル。
- マックス(株)・ホッチキス。釘打機。
- 富士通(株)川崎工場・FACOM-128B リレー計算機システム (昭和32年)。スコチン (昭和30年)。SH式自動交換装置 (昭和10年)。CS-10MT形海底同軸中継装置 (昭和44年)。
- 東京
- 田中鋳業(株)・精鋳脱水用ドラムフィルタ (昭和34年)。
- アブダビ石油(株)・発電機。日立ガスタービン (昭和48年)。
- 日産建設(株)・モンケン。ラウハンマー。
- 石川島防音工業(株)・大型航空機地上運転防音設備。
- 味の素・甕。
- 東レ(株)・第1号ナイロン紡糸機。テトロン第1号生産機。初代PMCランプ。レーヨン紡糸機模型。
- 富士紡績(株)・紡糸機。
- 資生堂(株)・オイデルミン (明治30年)。ワールドクリーム (大正7年)。ウビオリン (大正11年)。カーマインローション (昭和12年)。七色粉白粉 (大正6年)。ドルチックス化粧品 (昭和7年)。福原衛生歯磨石鹸 (明治21年)。フローリン (大正4年)。
- ゼネラル石油(株)・灯油電気式洗浄装置。マーロックラフサ洗浄装置 (昭和35年)。LPG冷凍タンク (昭和36年)。
- ライオン(株)・歯ぶらし。歯磨き。チューブ充填機。
- 吉野石膏(株)・ボード旧機械スケッチ。
- 日立金属(株)・第1号圧延機 (大正6年)。包丁鉄 (雲伯鉄鋼合資会社製)。
- 東京重機工業(株)・家庭用ミンHA-1型 (昭和22年)。
- 日本電気三栄(株)・脳波計。
- (株)東芝・精算電力計。水銀整流計。冷蔵庫。クリーナ。洗濯機。電気釜。電球。電子計算機TAC。三極真空管。
- パイオニア(株)・ダイナミックスピーカー。水中スピーカー。スタート用SD。セパレートステレオ。アンサホン。カーステレオ。無指向性CS (ブラッセル万博)。
- 三菱重工業(株)・バクトン式万能試験機 (日本最初の産業技術記念物)。3000HPガスタービン。管内検査鐘。潜水艦操舵装置用油圧制御弁。スクーター。三菱チェーン式無段変速機。メイキエンジン。全軽合金製高速艇。水中翼客艇。正四面体型超高压発生装置。
- セーラー万年筆(株)・各年代の製品有。
- 北陸
- (株)広貫堂・家庭医薬品 (明治9年)。製丸機。セエジグ機。
- (株)月星製作所・大久保発電所発電機。
- 中部
- 東芝硝子(株)・STRマシン。IVHマシン。
- 高安(株)・ステッチボンド不織布 (昭和42年) チェコスロバキアより輸入。
- 住友軽金属工業(株)・4段圧延機 (昭和15年)。同タンデム (昭和16年)。熱間圧延機 (昭和40年)。連続焼鉢炉 (昭和46年)。

- (株)豊田自動織機製作所…織機カタログ。
  - (株)大同機械製作所…工作機械1台。
  - 豊田工機(株)…グリーンソン歯切監。ノルトンピン研削盤。平尾鉄工立削盤。牧野フライスマシニングセンタ。マルチ研削盤。サンドストラットマシニングセンタ(輸入)。カム測定機アドコール。真田度測定機テラホブソン。
  - 長野日本無線(株)…高周波試験機。耐圧試験機。
  - フタバ産業(株)…送管ベンダー。スポットウェルダー。
  - 東邦瓦斯(株)…圧送機(大正12年)米国サリバン社製。基ガバナー、フロート式(大正12年)。J & J BRADDOCK GLOBE METTER WORKS OLDRAM。ガスエンジン、米国キャタピラー。一酸化炭素変成装置(昭和34年)。中圧Bガバナー(3型自動昇圧器)。
- 近畿
- 江崎グリコ(株)…製品のパッケージ。工場模型。新聞広告。豆玩具(オマケ)。
  - 大倉酒造(株)…冷凍機、米国ヨーク社製。大倉式連続蒸米機。大倉式自動製麴装置。大倉式圧沓搾機。コップ付びん詰清酒(明治43年)鉄道省の指定を受けた「駅売り酒」の創始。本宅模型。醸造用機械および装置の模型。四季醸造工場「大手蔵」。
  - 帝国産業(株)…粗紡機、クームバーバー社製。捲糸機、シェラホースト社製。クロスロープ機、ジェームスマッキー社製。
  - 横田(株)…ガス小町糸(昭和3年)。駒巻力タン糸(昭和8年)。カード巻機。五巻機。手編レース糸。枠シルケット機。
  - 住江織物(株)…スタルワルト社製連続染色機。ポリエチレン用ホットメルト第1号。40吋タフテッドマシーン信貴機。タフテッドマシーン柄出装置付富士機。毛切れ梳毛モケット。33m巾どんちょう機。タフトン。唐招提寺宝仏舎利壺のレース。
  - レンゴー(株)…段ボール製造機械国産第1号。
  - 関西ペイント(株)…スプレーガン。
  - (株)ミドリ十字…凍結真空乾燥機国産第1号(昭和14年)。凍結真空乾燥機(チャンバーのみ)。日本薬局方健康人血装。
  - 帝国化工(株)…記録資料多数あり。しかし、検索は困難。
  - 新田ゼラチン(株)…プレプレーカー(タイ国移設)。ハードカプセル製造機。原料水洗機。抽出缶。炉過機。炉過用パルプ成型機。ゼラチンの起強度試験歴。リン酸カルシウム乾燥機。
  - 関西熱化学(株)…成型炭テストプラント。
  - 住友金属工業(株)…マンネスマン製管機(大正元年)。クランプレス製管機(昭和11年)。鉄通車輪用外輪圧延機。大阪市電用国産1号車。新幹線用試作台車。ボイラー鉄管(我国初)。大阪市電用国産1号台車。溝型低周波炉、イタリア・ダグリヤフェリー社。近代大型高炉用ベル。新幹線ディスクプレーキ。
  - 大日本電線(株)…SF同軸ケーブルテーピング機。0.9mm 28対アルミ被誘導遮蔽ケーブル。
  - 日本ビラー工業(株)…手廻しプレス。軸封装置。
  - ヤンマーディーゼル(株)…立形20馬力ディーゼルエンジンMAN社アウグスブルク工場1899年製作。
  - 大日本スクリーン製造(株)…線引機。木製製版カメラ。木製焼枠。電子製版彫刻機。石版転写用透明膜凸版(大正7年)。角型ガラススクリーン。62インチ丸型ガラススクリーン(世界最大)。銅メッシュ。コンタクトスクリーン。シャドウマスク。平型全自動廻版機。電子色分解装置。平型自動校正機。自動フィルム現像機。自動フィルム現像機。
  - (株)島津製作所…ワグネル木製足踏旋盤。

- エジソン蠟管式蓄音機。パイプオルガン。ヒットル氏管。ガスクロマトグラフ。排気機。暗箱式写真機。教育用X線装置。ガソリンエンジン模型。診断用X線装置。蓄電池。
- 松下冷機(株)・SCK型邦文モノタイプ模型。
- 日本電池(株)・ガラス製格子制御整流器。SCV形電源装置。
- 日新電機(株)・大型発電機。電力コンデンサ。シェーリングブリッジ。粒子加速装置。
- 富士車輛(株)滋賀工場・新交通システム車両、米国 Bendix Dasherveyer 社が Transpo 72 にて世界初の Dewo を行った実物。四輪トラック制作第1号機(ライガー号)の主要図面。日本初のラムジェットヘリコプターの社内完成写真(昭和27~29年)。国産第1号と思われる熔銑台車納入写真(昭和31年)。5663両トレラー写真(昭和27年)。
- 阪急バス(株)・デマンドバス1号車(昭和47年6月)、京都府園部・るり溪ゴルフ場に保存。
- 日立造船(株)・工作機械。天井走行クレーン。スルザーディーゼルエンジン。鶴邦丸(タンカー)。ジェリー用発音弾。
- 川崎重工業(株)神戸工場・国産第1号LNG船“GOLAR SPRIT”。半潜水型石油掘削ハグ。400,000DWTタンカー。
- 大阪ガス(株)・燃料電池。冷熱発電。トライエックス。OGASプラント西島。MANホルダー。今津型ホルダー。千里プラント。LNGポンプ。酸素富友膜等。GM継手。堺コークス炉。ガスエンジン(輸入)。有水ホルダー。ストーブ。ガス灯。火鉢。コンロ。湯沸器。レンジ。冷蔵庫。岩崎町工場配置図および設計書。舎密工場俯瞰図および設計書。ガス器具カタログ。ガス本管出来型図面(明治37年頃)。西島C炉建設用角分銅。舎密工場いものコークス配合用石うす(明治30年)。チェリーTプラント模型。ヴィクトリック継手。印ろう型継手。GM。ガス型継手。有水式基礎圧器。
- 中国
- (株)大本組・大型ディーゼル式1350HP浚渫船。
- (株)あじかん・日本初の厚焼全自動生産ライン。
- コウノシマ化成(株)神島工場・ショベルローダー(米国 Pay loader 社製)、輸入第1号と認められるも現在資料散佚。連続性過燐石灰製造設備(昭和29年、英国 Broadfield 社製)、第2号機であるが、1号機が坂出工場にてスクラップ化されたため、全国最古の現存機。ローラーミル(粉碎機)(昭和26年、米国 Bay wond 社製)。フォークリフト試作第1号機の現場テスト同景。
- 井笠鉄道(株)・機関車第1号機(大正2年ドイツ製)、新山鉄道記念館に展示。
- 四国
- 伊予鉄道(株)・軽便鉄道機関車(我が国最古)。
- 九州
- 日立金属(株)九州工場・島津旋盤。火鉢。トバタ石油発動機。
- 新日本製鉄(株)八幡製鉄所・ホットストリップミル、コールドストリップミル、いづれも国内初の設備。国内初の天井クレーン設計製作。高炉非常冷却水用高架水槽。東田1号(高圧高炉)。
- さらに企業の内は添付資料として、様々な製品や企業博物館のパンフレット、社史等を送付いただいた。以下に列挙する。
- 小松メック・トラクター、エンジン写真
- 三条機械・パンフレット
- 日立造船・資料館案内
- 沢山汽船・「会社のあゆみ」
- 永柳工業・社報第1号
- 大阪ガス・写真、ガスメータリスト

- 倉敷紡績・資料館案内
- 東京繊維・新聞記事
- ユニチカ・資料館案内
- 旭コークス・パンフレット
- 日本グリース・論文
- 昭和炭酸・社史, 圧縮機写真
- タキロン・社内報
- イピデン・社史
- ノザワ・文書「石綿盤解説」
- 合同石油・会社案内
- サンヨー電機・記念館案内
- 島津製作所・資料館案内
- 大阪ダイヤモンド工業・社史
- サッポロビール・展示資料目録
- キッコーマン・資料館案内
- 雪印乳業・資料館展示目録
- 中部電力: 資料館案内
- 日本酸素・資料館案内
- 資生堂・資料館案内
- 日立製作所・資料館案内
- 東芝硝子・社史
- 竹中工務店・資料館案内
- 日本農産工業・資料館案内
- 東京電力・サービスセンター展示目録
- エーザイ・資料館案内

- 新田ゼラチン・社史
- 松本電鉄・写真8葉
- 西日本製紙・社史
- 新日本製鉄八幡・資料館案内
- 王子製紙・資料館案内
- フソー・写真(アイスベット, かき氷器)
- 西部電機: 社史
- 大雪ハイランド・観光案内パンフレット

#### 4. おわりに

以上, 産業技術記念物調査に関する資料の紹介を簡単におこなった。アンケート冊子には, この他, 自由記入欄としてⅦを設け, ここに種々雑多な情報を記入してきた企業もあった。これは前章のリストと重複するものもあり, またアンケート表の分類に入りきらないものを, 別紙にして送付されてきたものもあった。これらの紹介は, 極めて多岐かつ膨大にわたるため, 今回は割愛することとする。

最後に, 本研究が文部省科学研究費補助金特定研究(1) (59127025) の助成により遂行されたことを再度記し, 本調査の実施に多大の協力をいただいた(社)大阪工業会, 並びにアンケートに回答をいただいた諸企業に深甚の謝意を表す。